

# 記載例

①については、「申立ての趣旨の額」（損害金を除く。）を、②については、表書きの「申立手数料の算出方法」により算出した額を記入してください。③については、裁判所にお尋ねください。

②に記入した金額に相当する収入印紙を貼ってください。

相手方の住所又は事務所を管轄する簡易裁判所名を書いてください。

あなたの住所、氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書き、氏名の横にあなたの認印を押してください。

申立人が会社であるときは、会社の所在地、会社名、代表者の氏名、電話やファクシミリがある場合にはその番号を書いた上、代表者印を押してください。

あなたに対して裁判所から書類を送る場合にどこに宛てて送ってほしいか、希望する場所（送達場所）の□をレ点でチェックして届け出てください。以後あなたに対する書類はこの届出場所に宛ててお送りすることになります。

あなたの勤務先に書類を送ってほしい場合には、「勤務先」の□をレ点でチェックし、勤務先の名称とその住所を書いてください。

あなたの住所でも勤務先でもない場所（例えば、あなたのお父さんの家など）に書類を送ってほしい場合には、「その他の場所」の□をレ点でチェックし、「申立人との関係」の部分に「父の家」などとあなたとその場所との関係を書き、その住所を書いてください。

上記の届出場所においてあなたの代わりにあなた宛の書類を受け取るべき人（送達受取人）を届け出る場合には、この□をレ点でチェックし、その人の氏名を書いてください。この届出をすると、以後あなたに対する書類は送達受取人に宛ててお送りすることになります。

相手方の住所、氏名、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。

相手方が会社であるときは、商業登記簿謄（抄）本又は登記事項証明書を見て、会社の所在地、会社名、代表者の氏名を書き、また、電話やファクシミリの番号が分かっている場合にはその番号を書いてください。

調停事項の価額	①	円
ちょう用印紙	②	円
予納郵便切手	③	円

印紙欄  
(割印はしないでください)

<p>調停申立書</p> <p>〇〇 簡易裁判所 御中</p>	<p>民事一般</p> <p>受付印</p>
---------------------------------	------------------------

作成年月日 平成〇〇年〇月〇日

住所（所在地）(〒〇〇〇-〇〇〇〇)  
 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号  
 氏名（会社名・代表者名）  
 東野 太郎 (東野印)  
 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

申立人 送達場所等の届出

申立人に対する書類の送達は、次の場所に宛てて行ってください。

上記住所等

勤務先 名称 〇〇株式会社〇〇事務所  
 〒 〇〇〇-〇〇〇〇  
 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号  
 TEL - -

その他の場所（申立人との関係）  
 〒  
 住所  
 TEL - -

申立人に対する書類の送達は、次の人に宛てて行ってください。  
 氏名

相手方 住所（所在地）(〒〇〇〇-〇〇〇〇)  
 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号  
 氏名（会社名・代表者名）  
 西野 次郎  
 TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 FAX 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

申立ての趣旨 相手方は、申立人に対して、次の金員を支払うこと

1 売買代金 円

② 残代金 10万 円

③ 損害金 平成〇〇年〇〇月〇〇日から  
 年 6分 の割合の金員

紛争の要点 後記記載のとおり

上記のとおり調停を求めます。

遅延損害金の利率を書いてください。その利率は、商取引による場合は年6分、それ以外の場合は年5分ですが、特別の約束がある場合は、その利率を書いてください。

あなた（申立人）が相手方に請求する金額を書いてください。

支払期日の翌日を書いてください。

紛争の要点 (下記のとおり)

1 申立人の職業・営業

電気製品販売業

あなた(申立人)の職業・営業等を具体的に書いてください。

2 申立人が売り渡した物件

売り渡した商品の品目、数量、代金、売渡日を書いてください。

品目	数量	代金	売渡日
ノートパソコン	1台	12万円	0.2.10
			.
			.
			.

(特約) 代金は平成〇年2月から同年7月まで毎月末日限り金2万円ずつ申立人の指定する銀行口座に振り込んで支払う。前記分割金を1回でも怠ったときは直ちに残額を支払う。

1回の月賦金の額、その支払方法、支払期日、支払を怠った場合の特約、その他について特別の約束があれば、それを書いてください。

3 代金支払状況

ア 全額未払

代金支払状況を書いてください。

イ 代金のうち金 10万 円未払

4 その他参考事項 (相手方が代金を支払ってくれない事情等)

相手方は2月分の割賦金2万円を支払ったのみで3月分以降の残額の支払いをしない。

分割払の約束がある場合の支払状況など、調停の参考になると考えられることを書いてください。

添付書類

売買契約書写し

通

商業登記簿謄(抄)本又は登記事項証明書

通

証拠書類となる売買契約書などがありましたら、その写しを添付してください。

申立人又は相手方が会社の場合には、その会社の商業登記簿謄(抄)本又は登記事項証明書を添付してください。